



俺様

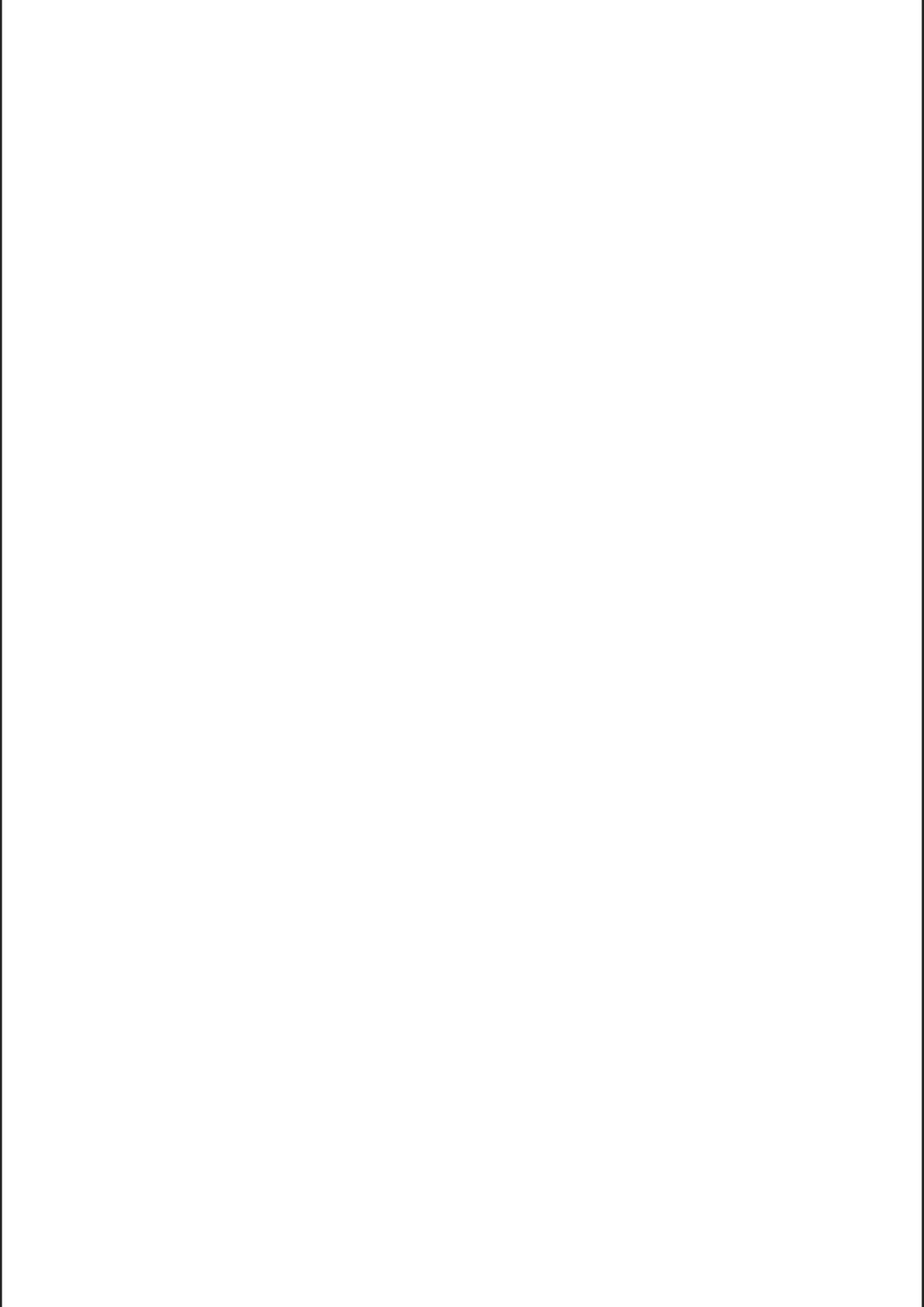
のク

花嫁 奴隷

①

夏生 恒

Kou Natsuo



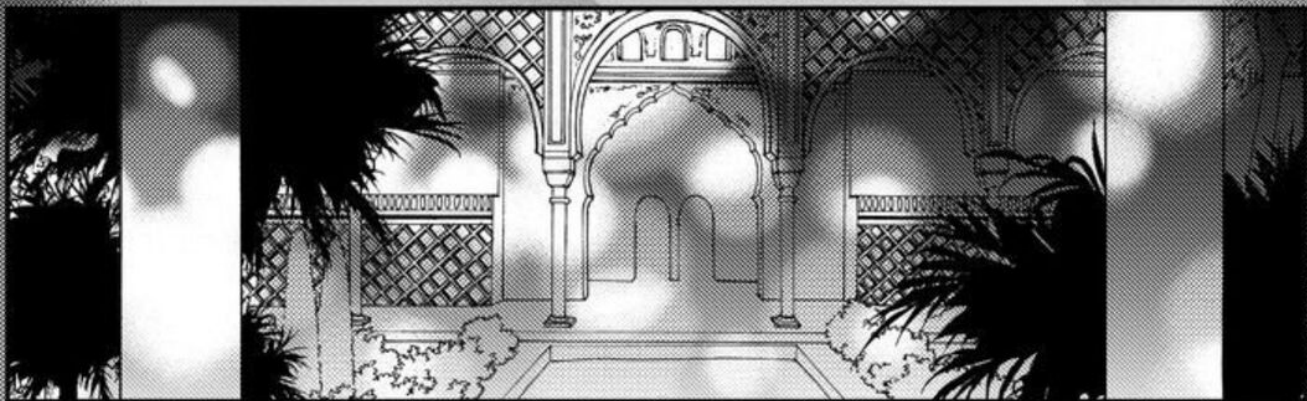


俺様 の ク ク

花嫁 の 家 奴 隷

第1話
私をさらう
灼熱の男

夏生 恒
Kou Natsuo



ああッ

やあッ

アアッ

ふあッ



死んじやう
から…つつ

ダメ
ダメ

死んじやう…



体は
イヤがってないぞ

ろろ…



おかしく
なる…ツ

あッ

ダメ…

ここから逃げて
どこへ行く？

なぜ逃げよう
とした？

街の外は
果てのない
砂の海だ

女の身では
一日で力尽きて
しまうぞ？

ああ
ダメ...

...ねが...
お願い...
もう...

ああッ

...あッ
あッ

おとなしく
このまま
オレのものに
なればいい

アアッ

夜毎
オレの訪いを待ち
オレに抱かれ
オレの子を孕み

産み育てるんだ

ちがう
そんな…

日本から
遠く離れた
砂漠の国に
理由も知らされず
連れてこられて

そんなのが
欲しいんじや
ないも…

んん…
つつ

どんな
ぜいたくも
させてやると
いったらどう？

それ以上
何を
望む？

あッ
あッ

アアッ



わからない
女だ

オレの
妻になれと

世界を
くれてやると
いつているのに



繰り返される
睦言

あーッ

ああッ

ああッ

あッ

出すぞ……ッ

べっぴんして
私を選んで

アアア……ッ

あッ
ダメ
ダメ……ッ

べっぴんして
ここへ
連れてきたの……？





美津さん
今日も
元気いいですね

おはよう
ございます

美津



おはよう
ございます!

はいっつ
朝から
テンション
低いと

周りの
雰囲気
壊します
から!

モチベーション
高くいくのも
仕事のうちと
思っていますので!

足元を
失礼します!



いいですねえ

僕らの
モチベーションも
上がる気が
しますよ!



今日もガンバって
ください!

医療関係者の
みなさんの活躍に
日本国民の
健康が
かかってますから!!

はい

天使だ…



なんか
きらびやかな
集団



あ

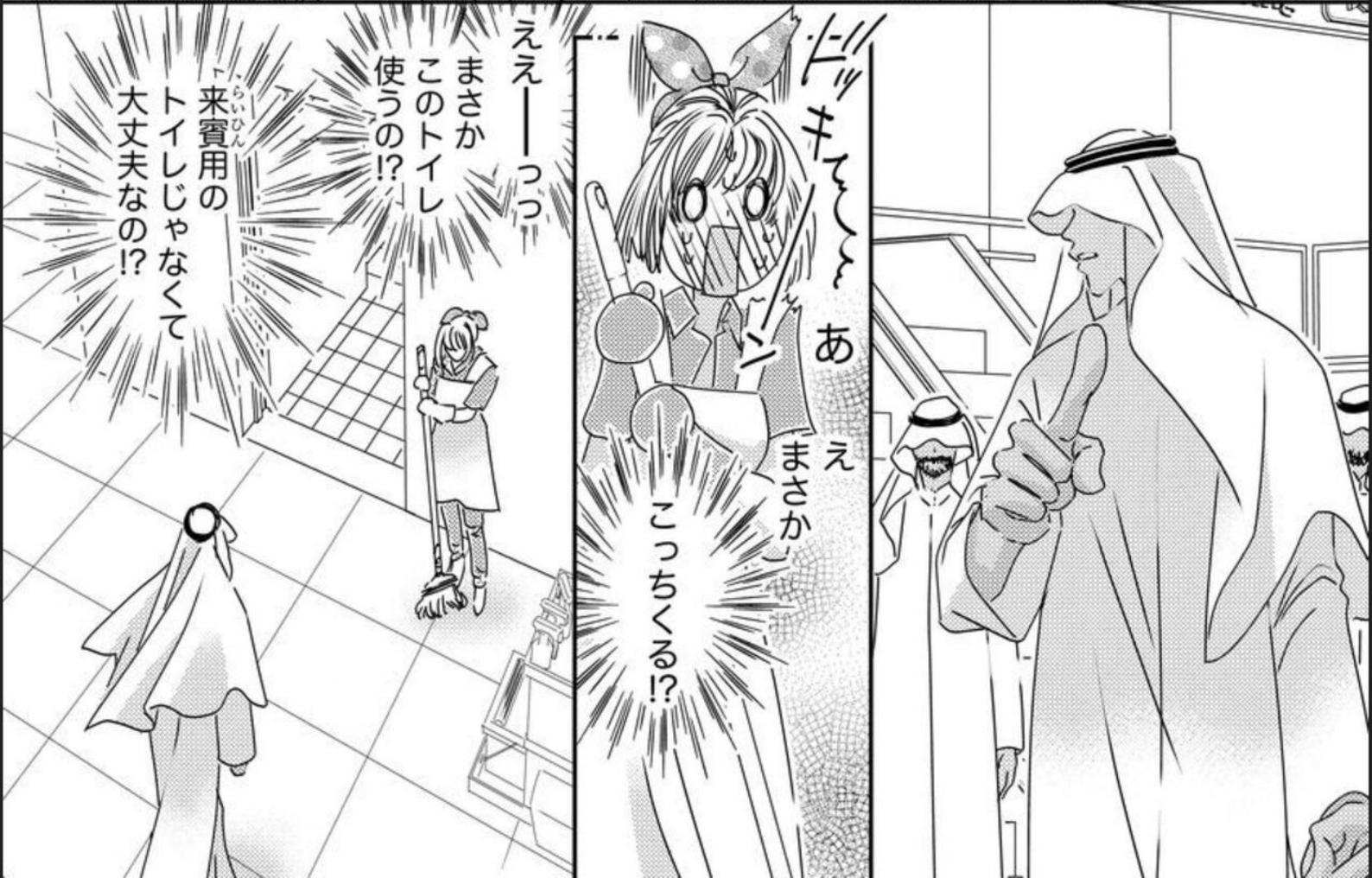


あそこだけ
アラビアン
ナイトな
世界...

そういえば
院長先生が
「今日は
VIPなお客様が

院内の施設を
視察にくる」って
いってたっけ...

わー
目の保養...



こっちくる!?

まさか

あ
え

ええーっっ

まさか
このトイレ
使うの!?

来賓用の
トイレじゃなくて

大丈夫なの!?

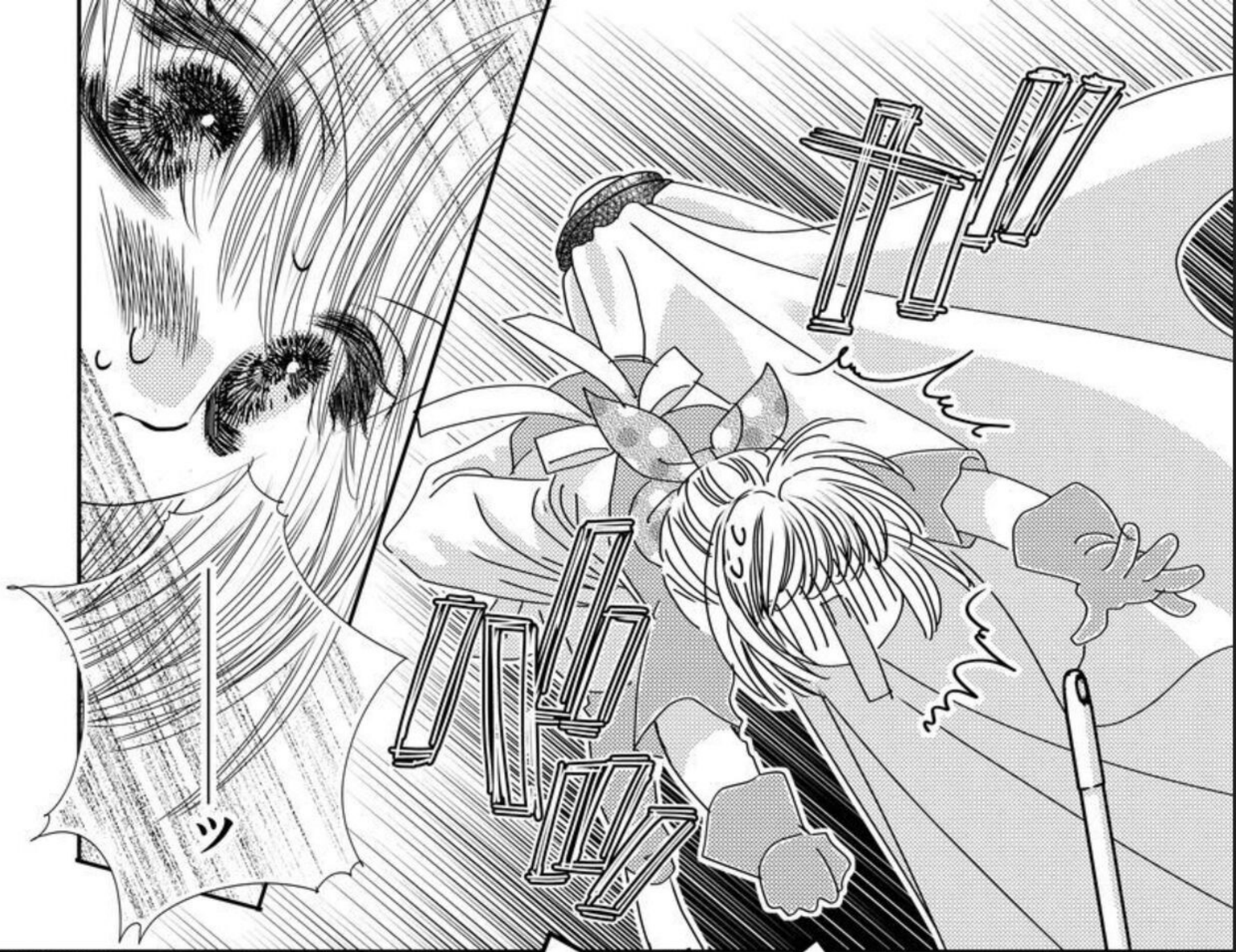


私顔に何か
ついてる?

何? えっ?

えっ?

?



起きなまじや...

仕事...

ん...



ジュブ...

.....は?

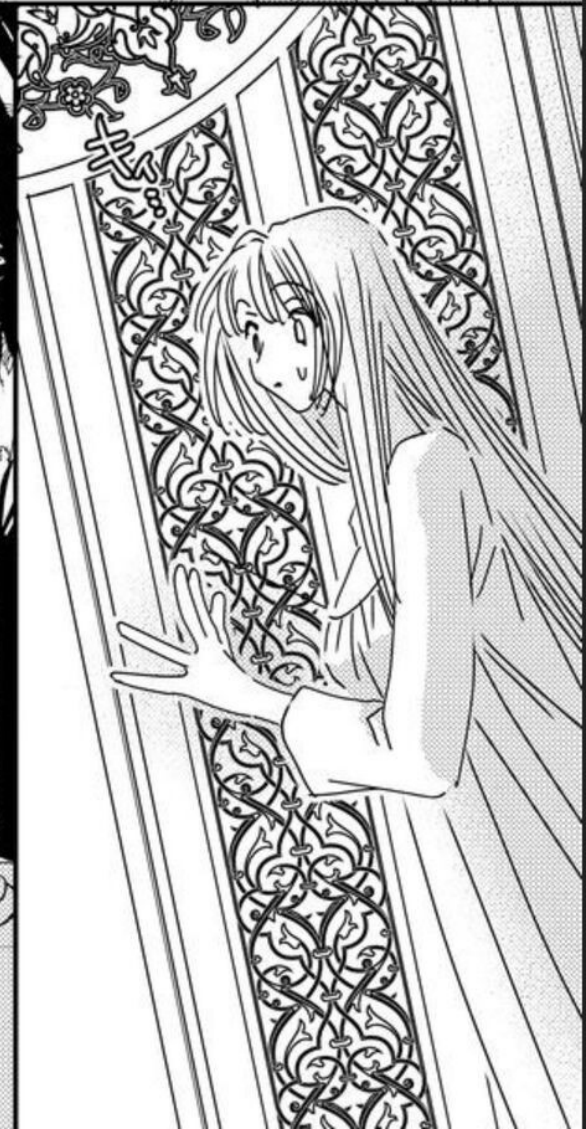
.....

どっかの
テーマパーク...?

エ

.....

お目覚め
ですか
奥方様





あ…その
アルド様って…？

なんなりと
お申しつけ
くださいませ



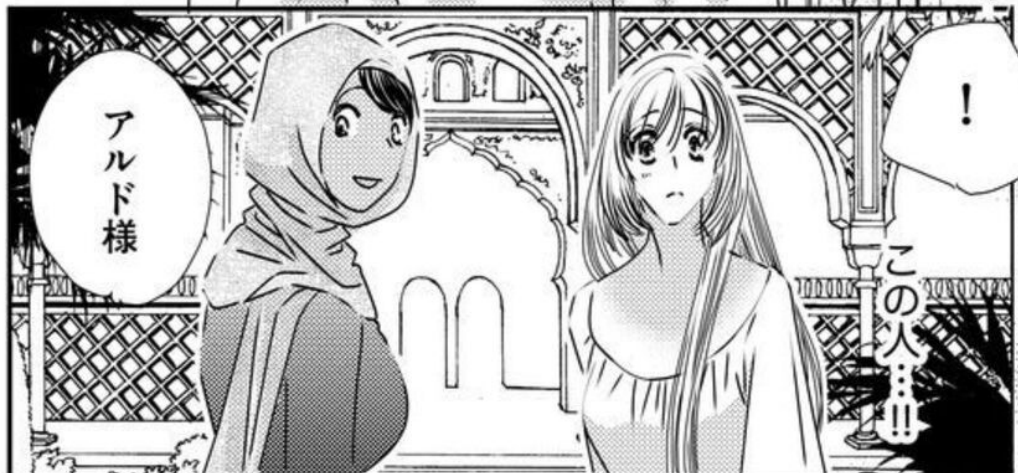
私
ハカと申します

奥様方の
お世話をさせて
いただくよう
アルド様から
仰せつかりました



目が
覚めたのか

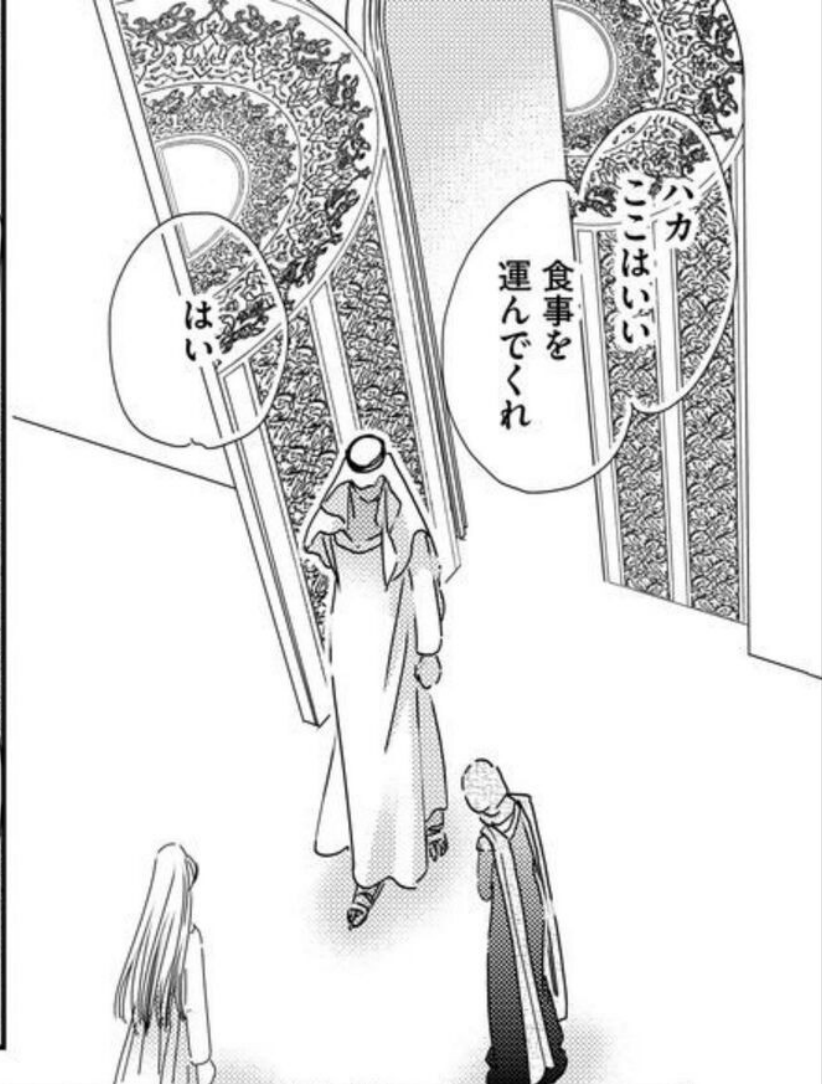
ああ




アルド様

！

この人





おまえが現在
いるのは
ハサラファアザー!

中東の砂漠に
囲まれた
私の国だ



うそ…
だって
さっきの女の人も…
あなたも日本語
しゃべってるし…

オレは
小さい頃
日本で
育ったから

ハカは日本語が
流暢だから急きよ
おまえ付きの
女官として
採用した
これ以降も
人員を
増やしていく
予定だ



アブド

病院に
電話…っっ
電話させて
ください…っっ
無断欠勤ツ!!

これ以降
…って…
あっっ
そういえば私
仕事…っっ

はっ

どろろ
どろろ
どろろ



院長先生…ッ

も…っっ
もしもしっっ



10年ぶりに再会した
ファイアンセ
だったんだってねえ?
よかったねえ

あーッ
カナちゃん!?
どう?
カレシと
うまく
いってる?

あっ
そういえば
殿下から
多額の寄付を
いただいてね!

全自動
トイレ掃除機
「丸洗い君」を
導入できたんだよ!

はあっっ!?

はっ





だから
こっちは
大丈夫だから！
心配しないで
カレシと
ゆっくり
しておいで！



心配ないと
いわれたらどう？

……



さっぱり
覚えてないん
ですけど……

……どうやって
出国できたのか
私



い しき もう ろう
意識朦朧……

そうだ

特別な
茶を
飲んでもらった

お茶？



ちゅん

いやいや
つつ

……つつ

支障もギモンも
アリアリなんです
けど~~~~ツ



さあ

これでもう
なんの支障も
疑問もないな



ん——……つつ

口の中

んん…
つつ

気持ち
イイ…



ん…つつ
ん



や…
ダメ…ッ

は…
恥ずかしいん
ですけど…っっ



かわいい
ことをいう

アハハ…

恥ずかしい？



アッ
ダ…ッ

アッ
アッ

では
こうすると
どうだ？

ダメ…ッ
ダメエツ

ダ…





アアッ

アアッ

ダメエ…ッ

そんなトコ
やあ…っつ

びび

アッ
びび



…ああ
やわらかいな

ここに
入る瞬間を
想像するだけで

ゾクゾク
する…



…っ
っあ

あッ

ダメ
ソレ…
押しつけ
ないでエ…ッ



お……
大きい……

絶対
ムリだから……!

ム……
ムリムリッ
そんなの

あっつ

アッ
あひ……っつ
あんっつ

あん

らめえっつ

あっ

あっ

…どうだ？
濡れて
きたぞ

コレを挿れたら
きつと
気持ちいい

浅いところから
やさしく
かき回しながら

徐々に
深くして
いったら

やさしい声…

初めて触れる
男の人の熱…

きつと
おかしいくらい
快いはずだ

アッ

アアッ

挿れさせて
くれ

おまえの中に
入りたい

ここで
ひとつになって

一緒に
気持ちよく
なりたいんだ

ああ…
もう限界…

逆らえない…

ズル
ズル
ズル

ハッ
頭も体も
沸騰しそう…

これ以上されたら
どうなっちゃうのか

どんな世界が
広がってるのか

体験してみたい…

体験するなら

この人が
いい…

い…痛く
しないで…?



このまま
くっついたまま…

離れたくない…

きこ
と
さみしい…

待って…
あつ

ダメ…

ダメ…エ

ア—…ツ

離れたら
体の中にぽっかりと
隙間が空いたみたいにな
って…

あつ
待…っ

アツ

アツ
アツ

…まだ
足りない
もっと
もっと
していいか?

ええ…
っっ!?

何回目…!?

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。